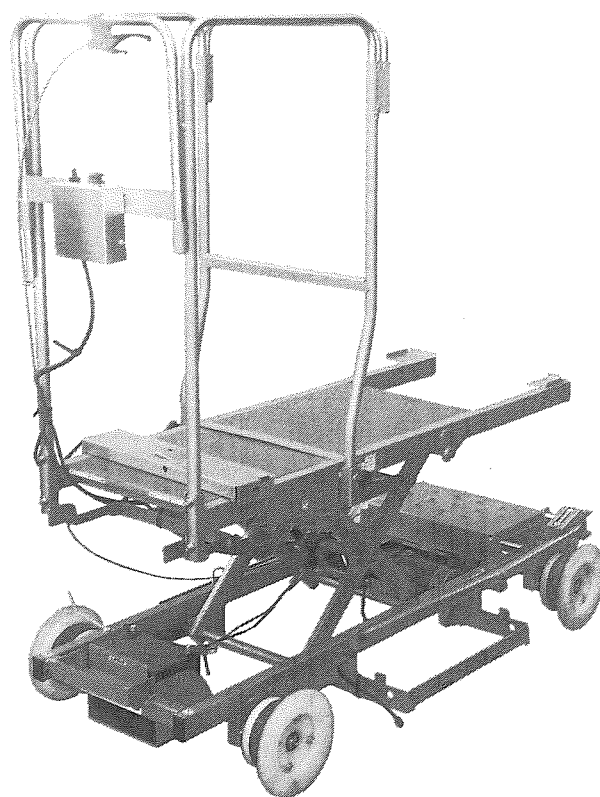


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

みどり 電動マルチ作業台車

GHE-101

取扱説明書



みどり産業株式会社

本機の使用上の重要安全ポイント

1. 本機から離れるときは、
走行方向選択スイッチを「OFF」にします。
2. 作業中は、チェンなどの
回転部分に触れないようにします。
3. 作業台の下に、
手や足を入れないようにします。
4. バッテリーの充電は、
湿気の無い、風通しの良い場所で行ない、
火気厳禁とします。
5. バッテリーの端子は、
金属工具で触れないようにします。

本機をお使いになる時は復唱してください。

本機を安全にご使用いただくために、是非守っていただきたい重要安全ポイントは、上記のとおりですが、上記以外にも本書の中で、特に守っていただきたい事項には、マークを付けて説明しています。本機をご使用の際は、本書をよくお読みいただいて、必ず守っていただくよう、お願いいたします。

- このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 本製品は、ビニールハウス内等の敷設パイプレール上で、作業フレームの床板の上に、立ったり座ったりして、収穫作業や摘葉作業を行なうための機械です。
- 上記の使用目的以外の作業や、改造はしないでください。
- 本書は、製品の正しい取扱い方法と、点検・整備について説明しています。
- ご使用される前には、本書を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- 本書は大切に保管し、本製品を貸与または譲渡される場合は、相手の方に本書の内容を十分に理解していただき、本書を本製品に添付してお渡しくください。
- 本書の内容に従った製品の正しい取扱いや、点検・整備を行なっていただくことを推奨します。本書の内容に従わずに、何らかの損害が発生した場合は、保証の対象外になりますので、ご注意ください。
- 本書を紛失または損傷された場合は、すみやかにお買い上げいただいた販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上の観点から、使用部品の変更を行なうことがあります。ご了承ください。
- 本書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について、次のように表示しています。

表示	重要度
 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重症を負うことになるものを示しています。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重症を負う危険性があるものを示しています。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れがあるものを示しています。
 重要	その内容に従わなかった場合、物的な損害をこうむる恐れのあるものを示しています。 また、本製品の性能を発揮させるための、注意事項を説明しています。よく読んで、本製品の性能を最大限に発揮して、ご使用ください。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

安全に作業をするために	1	作業前の準備	12
運転者の条件	1	作業のしかた	14
人に貸す時は	1	電動走行のしかた	14
作業を開始する前に	1	手動走行のしかた	14
作業中の注意	1	レール上への設置のしかた	15
点検・整備時の注意	2	立ち作業のしかた	15
バッテリーについて	2	座り作業のしかた	15
使用場所について	2		
安全表示ラベル	3	点検整備	16
安全表示ラベル貼付位置	3	サービス資料	17
各部の名称	4	商品の保証	17
各部のはたらき	5	サービスネット	17
走行方向選択スイッチ	5	補修用部品供給期間	17
走行速度設定ダイヤル	5	主要諸元	18
クラッチレバー	5	電気配線図	19
フットスイッチ	6	保証書	裏表紙
足置きフレーム	7		
バッテリー	7		
バッテリーガード	7		
充電コネクタ	7		
前部ステップ・後部ステップ	8		
手摺(前)	8		
手摺(横)・手摺(後)・支柱後	8		
移動車輪操作レバー	9		
移動車輪	9		
従動輪	9		
駆動輪	9		
床板	10		
作業フレーム	10		
コンテナ受	10		
延長ステー	10		
昇降ロックレバー	11		

本章では、本機を効率よく安全に、ご使用いただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しています。十分に理解されて、安全な作業を行なってください。

■運転者の条件

●体調について

- ①飲酒時や薬を服用している時は、作業を行なわないでください。
- ②妊娠している方、また、その可能性のある方は、作業を行なわないでください。
- ③心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用されている方は、作業を行なわないでください。

●服装について

服装は、作業に適したものを着用してください。服装が適していないと、衣服が回転部に巻き込まれたりして、大変危険です。

■人に貸す時は

本機を人に貸す時は、取扱い方法をよく説明して、使用前に本書を熟読するように、指導してください。本機で誤った操作を行なって思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

■作業を開始する前に

●作業前点検について

作業を開始する前には、各部の点検・整備を必ず行なってください。これを怠ると、作業中に思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

●通行区域の整備

作業列（レール）の幅・水平度を保ち、レールの上やレールの間に、走行を妨げる物が無いよう、点検・整備・清掃をしてください。これを怠ると、脱線、転倒等の思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、危険です。

●無理のない作業計画で

作業は無理のない、ゆとりのある計画を立てましょう。無理な作業計画は、あせり等から思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。

■作業中の注意

●作業中は周囲の人に注意

作業中は、作業員以外の方は、本機に近づかないでください。本機や作業による飛散物等で傷害事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

●作業台の下に手足を絶対入れない

作業台の下には、手や足などを絶対入れないでください。作業台が上昇や下降する時に、リフトアームや作業台に挟まれて、重大な事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

●回転部分には手を触れない

作業中は、チェーン等の回転部分に手を触れないでください。これを怠ると、傷害事故の原因となり、大変危険です。

●専用レール以外での使用禁止

レールの幅	…	585～605（芯間）
左右の傾き	…	3度以下
レール入口先端の跳ね上がり	…	2mm以下
レール支持ホルダーの先端の開き	…	48mm以下

上記の状態を、必ず保ってください。
また、レールの上には、ゴミや葉等が無い状態にしてください。
レールが上記の状態でないと、脱線や転倒及びレールや車輪が損傷する恐れがあり、大変危険です。

●過積載の禁止

本機には、120Kgを超える積載をしないでください。本機の転倒・故障・破損の原因となって、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

●本機から離れる時は

本機から離れる時は、走行方向選択スイッチを必ず『OFF』にしてください。これにより、バッテリーの放電を抑えます。
また、本機を、広く平坦な場所に停車させて、「クラッチ入」の状態にしてください。
これを怠ると、本機が不意に動き出す恐れがあり、大変危険です。

安全に作業をするために

■点検・整備時の注意

●適正な工具で

点検・整備を行なう時は、適正な工具を正しく使用してください。これを怠ると、整備中の事故や整備不良による、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

●機械の改造は厳禁

本機の改造は、絶対にしないでください。機械の故障や事故の原因になり、大変危険です。

●湿気禁止

本機は、防水仕様ではありません。水洗いは、絶対にしないでください。電気系統（バッテリーを含む）が破損する恐れがあります。

■バッテリーについて

●バッテリーの取扱い

レンチ等の工具や導電性金属が電極に触れるとスパークが発生し、工具や電極が溶解する恐れがあります。また、バッテリーの上に金属類を置かないでください。短絡事故やバッテリーの破損の原因になります。

また、バッテリーの上面や接続部を、乾いた布で拭いたり、ハタキがけをしたり、シートを被せたりしないでください。静電気が発生し、爆発の原因になります。設置・保守・点検の際はこれらの危険性を理解した上で、十分に注意して行なってください。

●バッテリーの種類

本機に搭載のバッテリー（KUNG LONG製U1-36NE）は電圧12V・容量36Ah（20時間率）の密閉型サイクルバッテリーです。

液補充が不要で、液漏れやガスの発生も少なく繰返し充放電での耐久性に優れています。

●バッテリーの充電

バッテリーの充電の目安は、使用頻度や使用状況により異なりますが、基本的に、作業終了後に日々行なってください。充電しないまま使用を続けると、過放電となってしまう、バッテリーの寿命が著しく低下します。また、充電は40℃以下の状況で行なってください。

●バッテリーの寿命

バッテリーには寿命があり、生涯使える電気量や充電回数が決まっています。

本機に搭載のバッテリーは、50%放電まで使用した後に充電した場合、約750回の繰返し使用ができますが、これは使用状況によって変わります。

下記の症状が発生しましたら、バッテリーを新品の物へ交換してください。（バッテリーは消耗品です）

- ①使用期間が2年を経過した。
- ②電動走行する際の加速が鈍くなった。
- ③使用できる時間が短くなった。
- ④充電中に熱を持つようになった。

●バッテリーの着脱

バッテリーを着脱する時は、必ず、走行方向選択スイッチを『OFF』にしてください。また、取り外しは⊖端子から、取り付けは⊕端子から行なってください。

これを怠ると、着脱の時に火花が発生して、バッテリーの発火や火災を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

●バッテリーの保管

バッテリーは、使用していない状態でも、少しずつ放電しています。約6ヶ月放置すると20%程度の放電をしてしまいます。放電の程度が大きくなると、過放電となってしまう、充電ができなくなります。少なくとも、1ヶ月に1度は充電を行ない、過放電とならないようにしてください。

■使用場所について

平坦な場所で、ご使用ください。

特に、凹凸や横傾斜のある場所では、本機が直進せず、衝突や横転の恐れがあります。また、防除用や肥料用の薬剤・薬液等の影響を受ける場所に置いたり、保管したりしないでください。本機に使用している、ゴム製や樹脂製の部品の劣化・損傷の恐れがあります。

安全表示ラベル

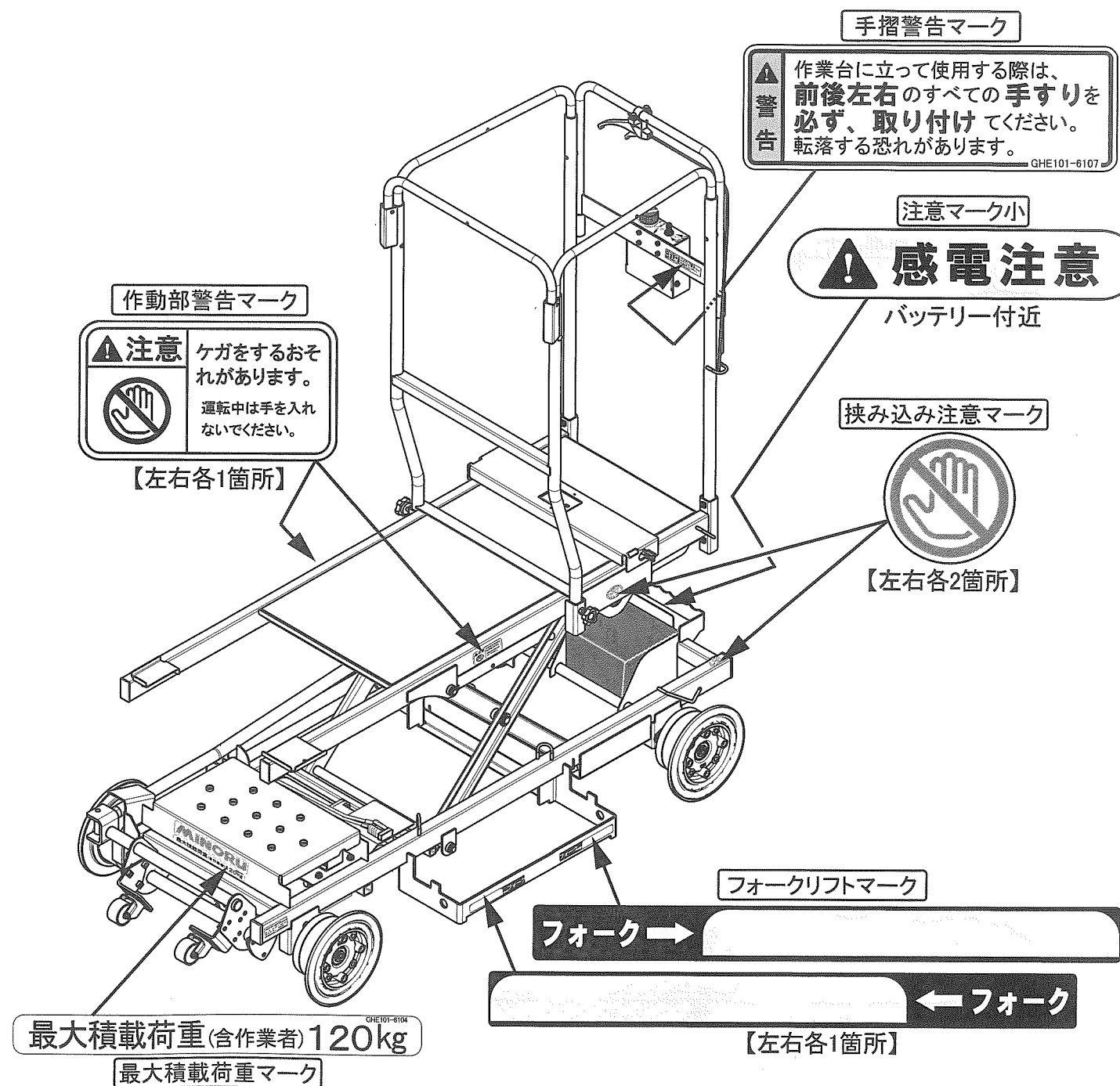
●本機には、安全に作業していただくために、安全表示ラベルを貼付しています。必ずよく読んで、これらの指示に従ってください。

●安全表示ラベルが汚れた場合は、汚れをきれいに拭きとり、内容が読めるようにしてください。

●安全表示ラベルが破損したり、はがれたり、読めなくなった場合は、販売店に連絡し、交換してください。

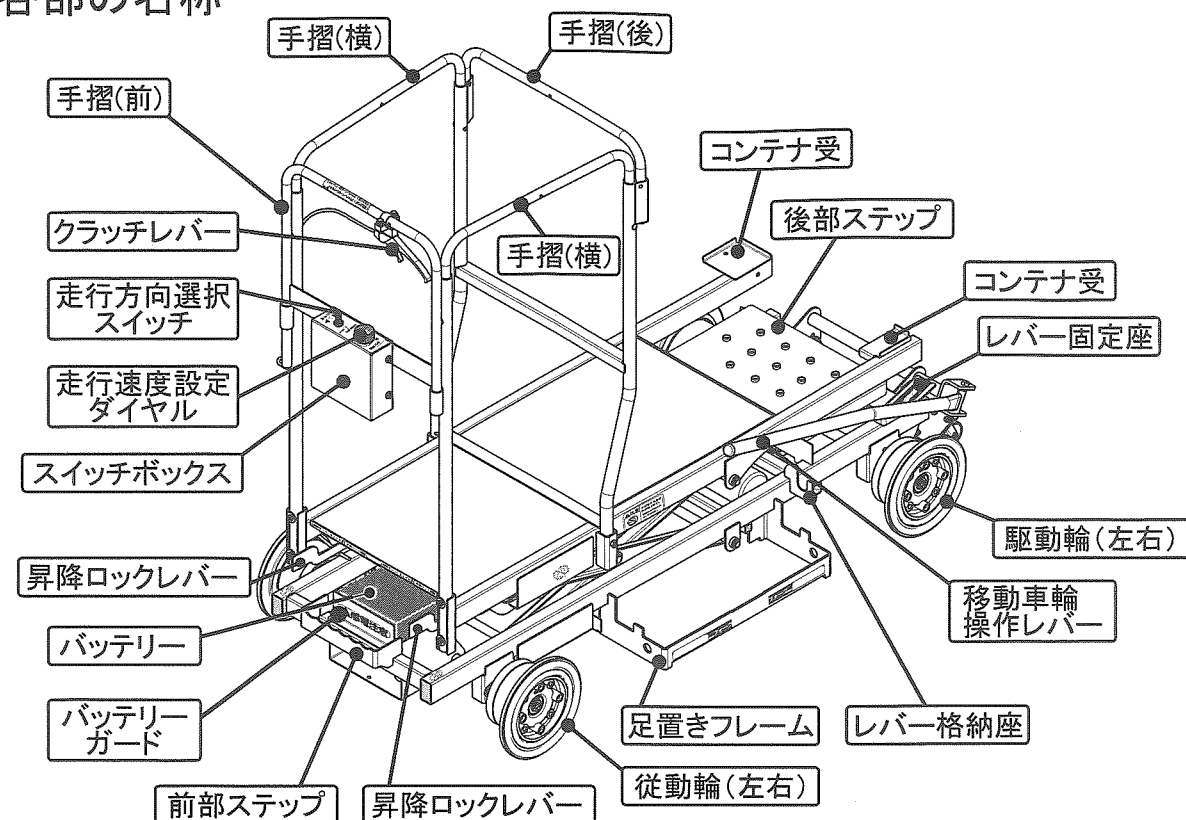
●安全表示ラベルを貼付している部品を交換する場合は、安全表示ラベルも併せて、購入先にご注文ください。

■安全表示ラベル貼付位置



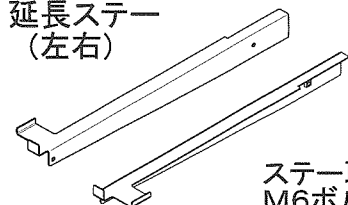
各部の名称

■各部の名称

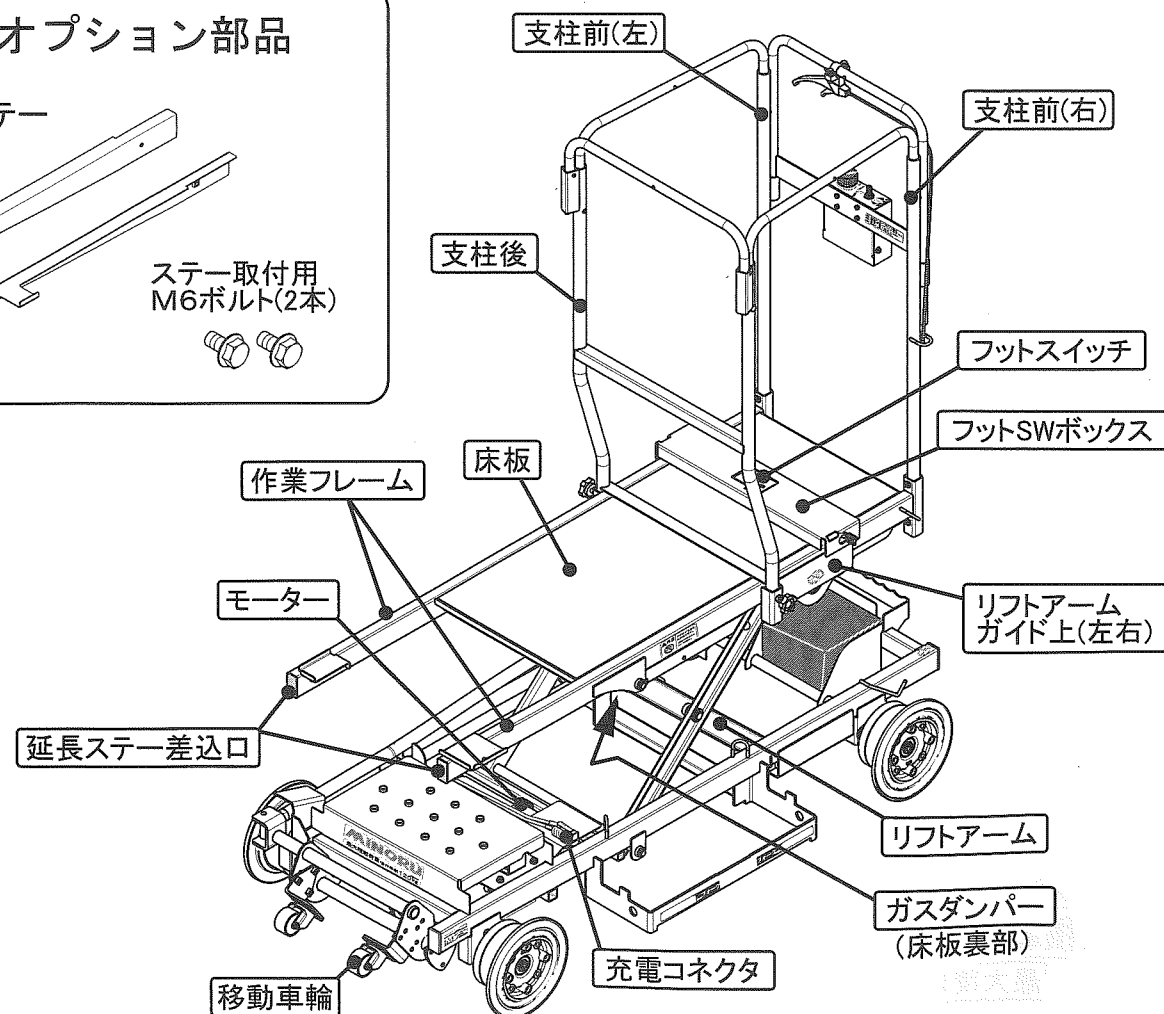


■オプション部品

延長ステー
(左右)



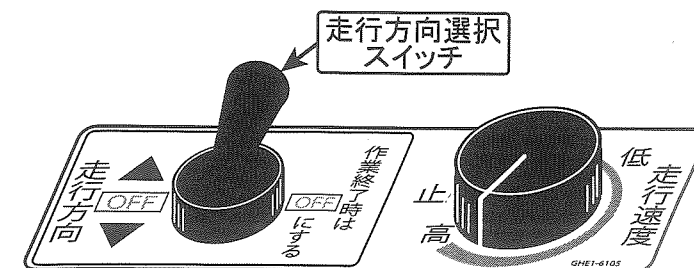
ステー取付用
M6ボルト(2本)



各部のはたらき

■走行方向選択スイッチ

電動での走行方向を選択するスイッチです。スイッチボックスの上面にあります。「▲」または「▼」の方向にスイッチを倒すと、倒した方向が選択されます。またスイッチを中立の『OFF』にすると電源が遮断されて、電動走行が停止します。



警告

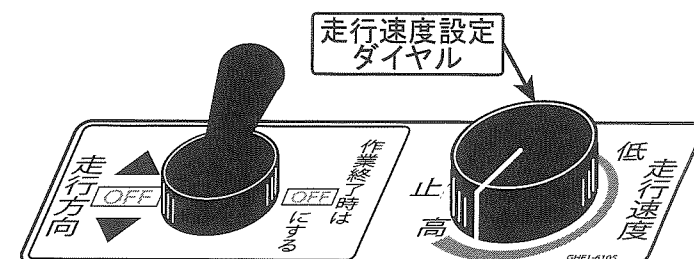
本機から離れる時や、充電・点検・整備等を行なう時は、このスイッチを『OFF』にしてください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

重要

このスイッチを倒しただけでは、電動走行しません。フットスイッチでの操作で走行します。電動走行中に、このスイッチを操作すると、電動走行が停止します。作業が終わったら、このスイッチを『OFF』にしてください。これにより、バッテリーの放電を抑えます。

■走行速度設定ダイヤル

電動での走行速度を調節するダイヤルです。スイッチボックスの上面にあります。右に回すほど、走行速度が速くなります。左に回し切ると、走行速度がゼロになります。



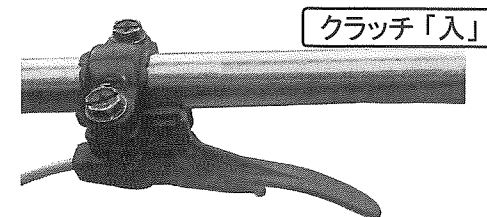
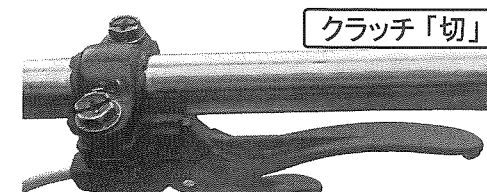
重要

このダイヤルは、電動走行中でも、走行速度を調節することができます。

■クラッチレバー

モーターと駆動輪とのクラッチ連動を操作するレバーです。

- ・レバーを握ってロックする
→「クラッチ切」の状態になります
- ・レバーのロックを外す
→「クラッチ入」の状態になります



重要

- クラッチレバーは、走行中でも操作できます。
- 本機を、手動等で押して走行させる場合は、「クラッチ切」で行なってください。
- 「クラッチ切」の状態では、電動走行はできません。



警告

「クラッチ切」から「クラッチ入」への操作は、走行方向選択スイッチが『OFF』の状態で行なってください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

各部のはたらき

■フットスイッチ

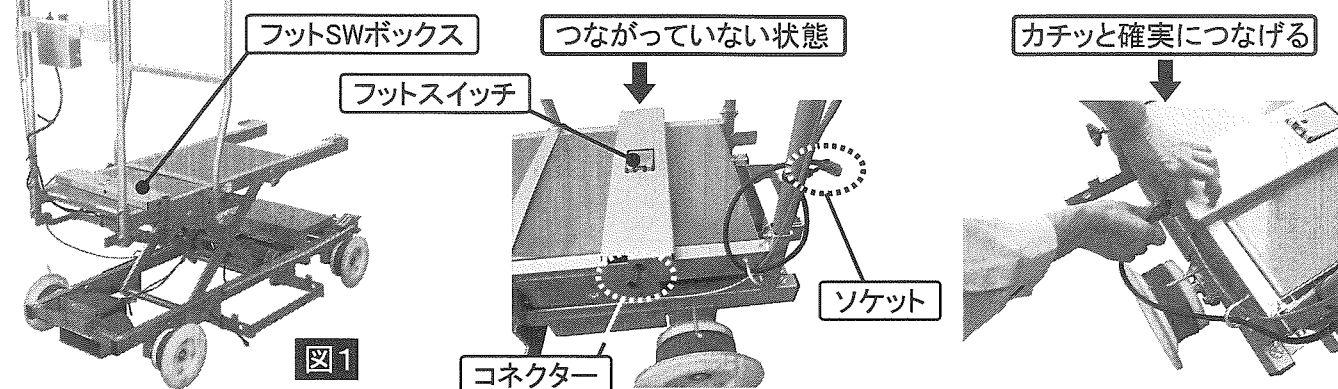
フットスイッチを踏むと、走行方向選択スイッチで選択された方向に、走行速度設定ダイヤルで設定された速度で電動走行します。フットスイッチを放すと、ブレーキが掛かり停車します。

重要 走行方向選択スイッチが『OFF』の時は、電動走行しません。

警告 電動走行は、周囲を確認してから行なってください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、危険です。

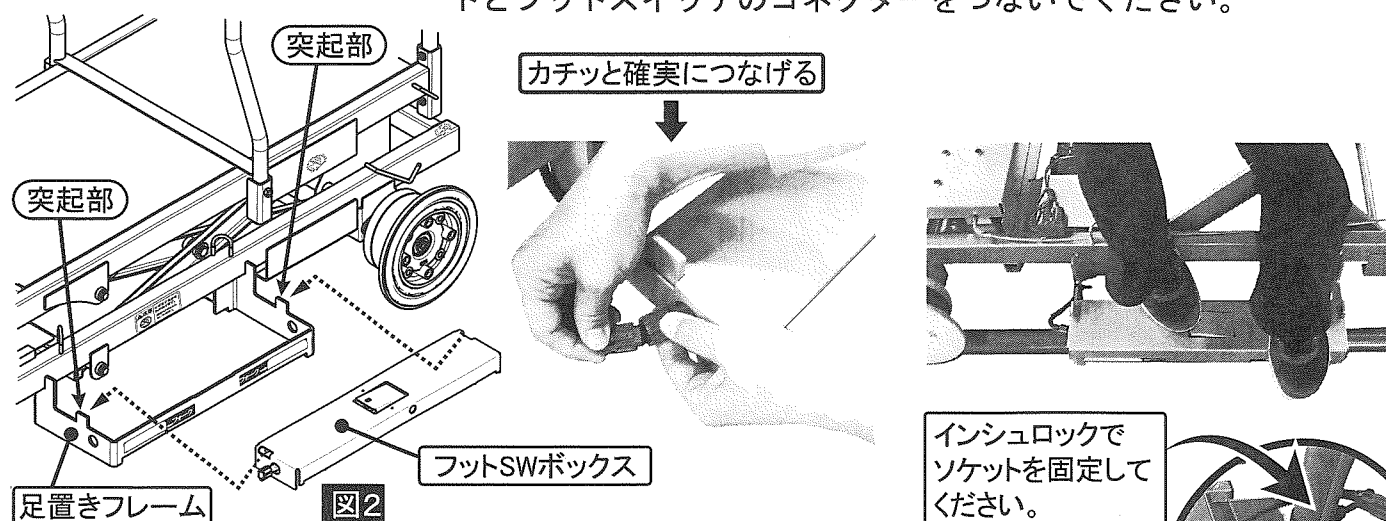
立って作業をする時 床板に立って作業を行なう時は、フットSWボックスを、支柱枠内の床板の上に置いて使用します。(図1参照)

※作業時には、支柱前右部にあるソケットとフットスイッチのコネクターが、つながっていることを確認してください。



座って作業をする時 床板に座って作業を行なう時は、フットSWボックスを、作業向き側の足置きフレームの突起部(2箇所)に差込みます。(図2参照)

※フットSWボックスを取り付け後、足置きフレームにあるソケットとフットスイッチのコネクターをつないでください。



注意 フットSWボックスを足置きフレームに取り付ける前には使用していないソケットの配線を、インシュロックで必ず固定してください。インシュロックで固定していないと、配線が従動輪に絡まり、配線が破損する恐れがあります。

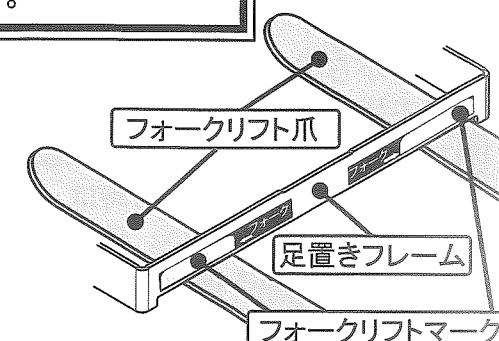
各部のはたらき

注意 フットSWボックスを、足置きフレームに取り付けて使用する時は、ソケット部を踏んだり、強く接触しないようにしてください。ソケットや配線が損傷する恐れがあります。

■足置きフレーム(左右2箇所)

本機の床板に横向きに座って作業を行なう時に、フットSWボックスを取り付ける箇所です。また、足置きフレームには左右共にフォークリフトマークを貼っています。

本機をフォークリフトで移動させる時は、フォークリフトの爪を、このマークの位置に合わせてください。



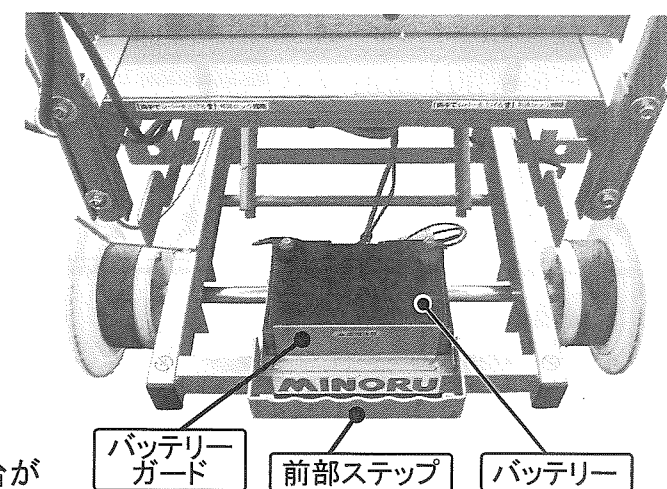
警告 フォークリフトの爪を、フォークリフトマークに合わせずに移動させると本機が破損する恐れがあります。

■バッテリー

電動走行用の電圧12Vのバッテリーです。本機の床板の下、前部ステップの後ろに搭載しています。完全充電時には電圧が13.5V程度あり、使用等での放電により、徐々に電圧が下がります。

重要 多く放電して電圧が低くなり過ぎると、バッテリーの寿命が著しく低下します。電圧が12V以下になったら、必ず充電してください。

重要 バッテリーに足を掛けしないでください。バッテリーが破損するだけでなく、作業台が降りてくると、足を挟む恐れがあり危険です。



■バッテリーガード

バッテリーを保護するための部品です。右のマークを貼っています。

感電注意

警告 バッテリー及びバッテリーガードには、手や足を掛けしないでください。

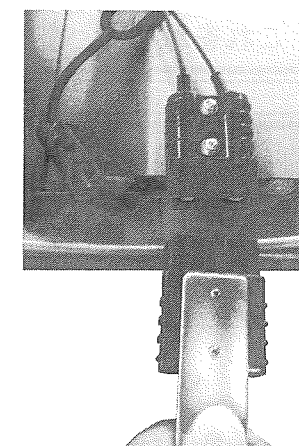
■充電コネクタ

搭載したバッテリーを、充電する時に使用するコネクタです。アンダーソンコネクタを採用しています。

充電する場合は、対応コネクタの付いた充電器を接続してください。

警告 充電は、走行方向選択スイッチが『OFF』の状態です必ず行なってください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、危険です。

重要 充電は、湿気の無い・風通しの良い場所で行なってください。



各部のはたらき

■前部ステップ・後部ステップ

本機の前方、または後方から、乗り降りする時に使用するステップ（踏み台）です。

- 前方から乗り降りする時は、前部ステップに足を掛けてください。
バッテリーには、足を掛けしないでください。
- 後方から乗り降りする時は、後部ステップに足を掛けてください。後部ステップは、モーターやクラッチ機構のカバーも兼ねています。

重要

モーターやクラッチ機構の点検・整備等で、後部ステップを外した場合は、必ず元の状態に戻してください。これを怠ると、モーターやクラッチ機構が、破損する恐れがあります。

■手摺（前）

支柱前（左）の側を持ち上げて、手摺（前）の左側の差込だけを外すと、開閉することができます。本機への前方からの乗り降りの際に使用します。



警告

手摺（前）は、強く持ち上げないでください。配線が破損する恐れがあります。

■手摺（横）・手摺（後）・支柱後

手摺（横）・手摺（後）・支柱後は、取り外すことができます。作業に応じて取り付け・取り外しを行ってください。



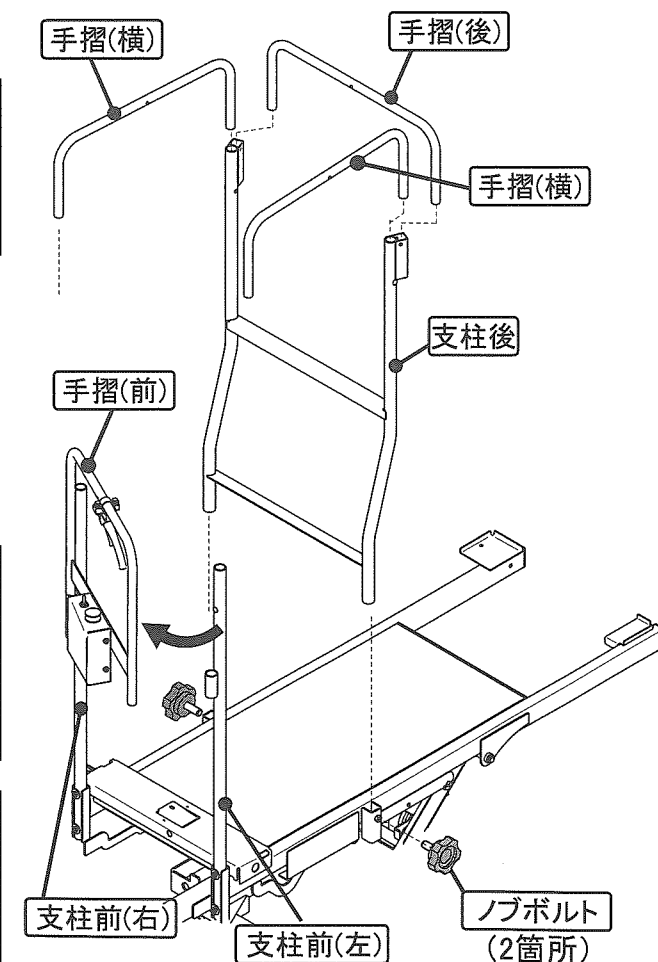
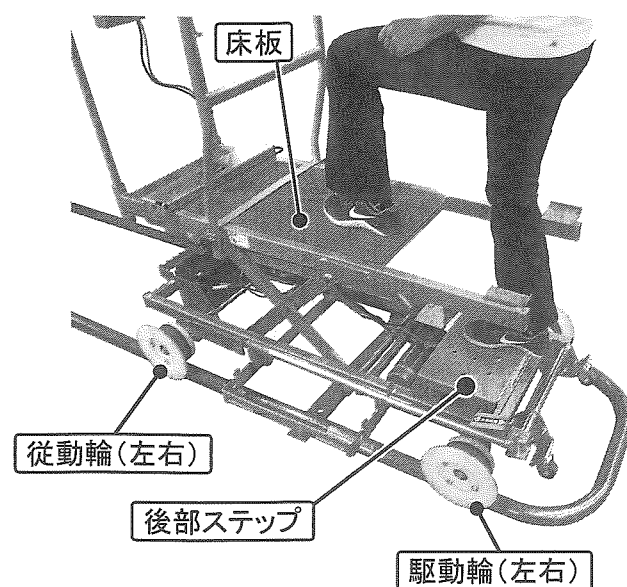
危険

作業台に立って使用する際は、前後左右のすべての手摺を、必ず取り付けてください。これを怠ると、転落の恐れがあり、危険です。



危険

支柱後を取り付ける時は、ノブボルト（2箇所）で、しっかりと締め付けてください。これを怠ると、転落の恐れがあり、危険です。



各部のはたらき

■移動車輪操作レバー

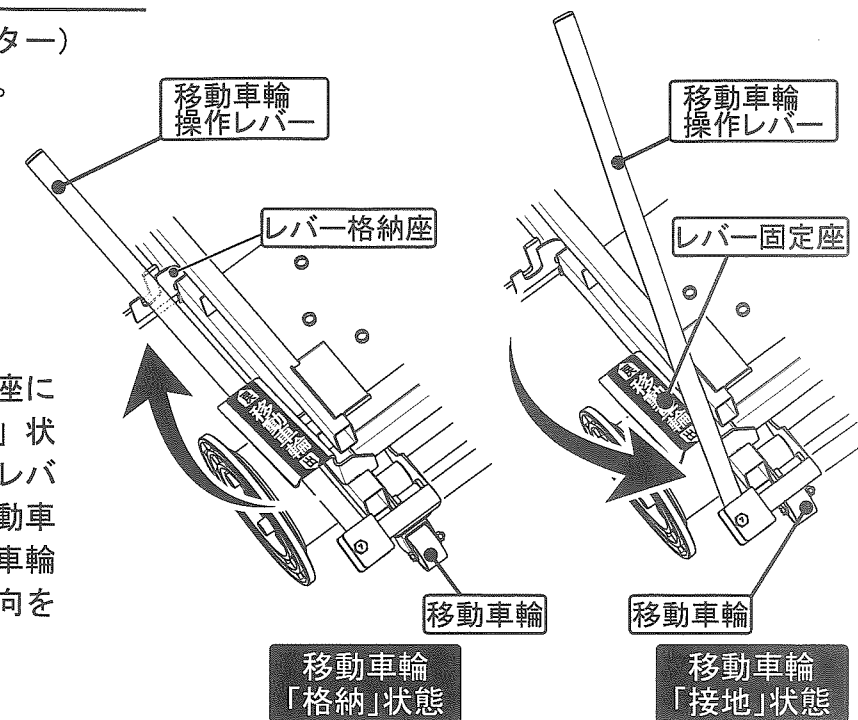
本機の後方にある移動車輪（キャスター）の上昇／下降を操作するレバーです。

移動車輪操作レバー

上げる → 移動車輪が下降
下げる → 移動車輪が上昇

移動車輪操作レバーを、レバー固定座にフックさせると、移動車輪を「接地」状態にできます。また、移動車輪操作レバーを、レバー格納座に収めると、移動車輪を「格納」状態にできます。移動車輪を「接地」状態にすると、本機の方角を変えて移動させることができます。

使用例）作業列（レール）の変更時



重要

レール上では、移動車輪を、必ず「格納」状態にしてください。また、移動車輪の下降及び「接地」状態は、レール上に無い場合のみとしてください。これを怠ると、移動車輪が破損する恐れがあります。

■移動車輪

レール上ではない場所で、本機を移動させる時に使用します。

重要

移動車輪が接地している状態では、電動走行はできません。

■従動輪

本機の前方側にある樹脂車輪です。本機の走行に応じて転動します。

■駆動輪

本機の後方側にある樹脂車輪です。電動走行時にモーターで駆動されます。

重要

走行方向選択スイッチが『OFF』、または、電動走行中の停止状態では、駆動輪にはブレーキが働いています。本機を押して動かす場合は、クラッチレバーにて、「クラッチ切」にしてください。

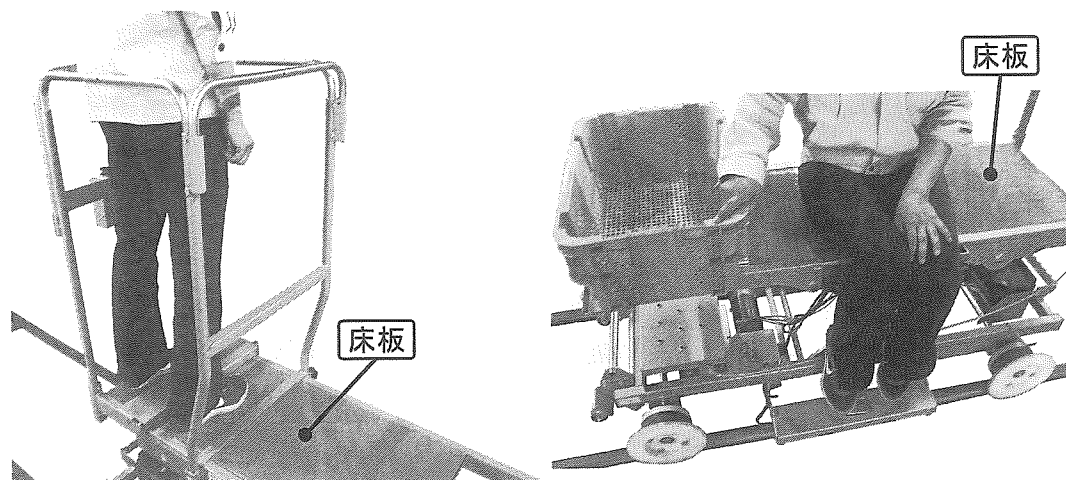
各部のはたらき

■床板

コンテナを乗せたり、作業する際に、座ったり立ったりする板です。本機の上部に取り付けて使用します。

重要

床板の4隅は、本機のフック部に収まった状態で使用してください。



■作業フレーム

床板を載せて固定する枠です。作業状況に応じて、高さを調整して使用します。

重要

昇降時には、手や足を挟まないように注意してください。

■コンテナ受

作業フレームの最後方にある、コンテナを載せる箇所です。

重要

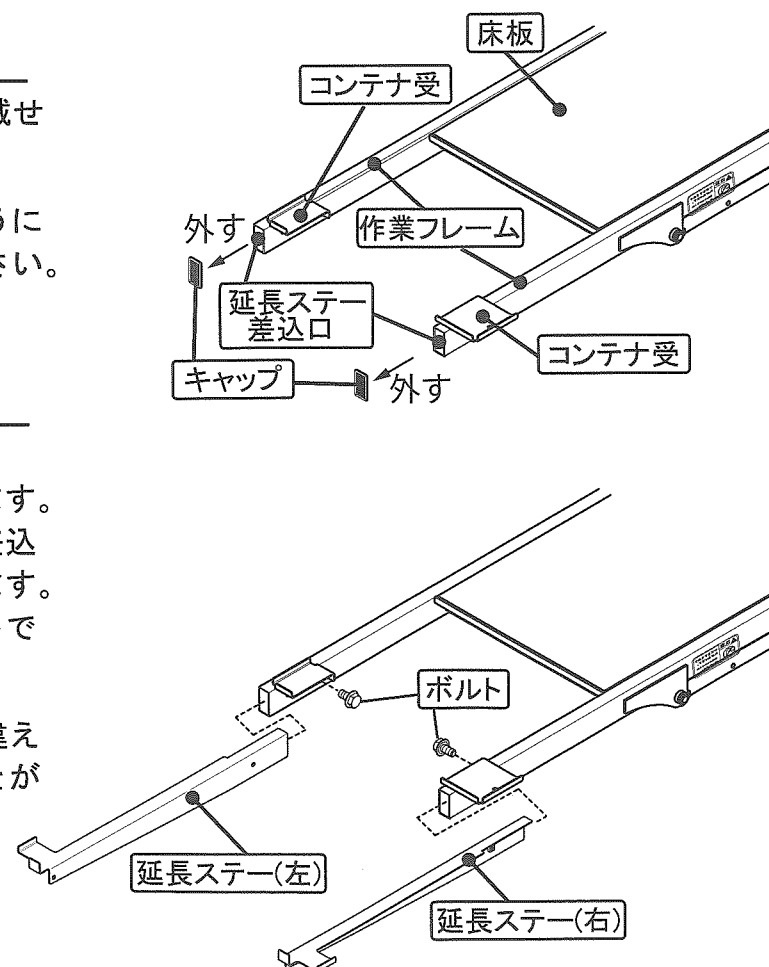
コンテナが落下することのないようにコンテナ受部に確実に載せてください。

■延長ステー

延長ステーは、オプション部品です。コンテナを載せる箇所を増やすことができます。作業フレームの最後方にある、延長ステー差込口の黒いキャップを外してから、差し込みます。作業フレームの内側から、付属のM6ボルトでしっかりと取り付けます。

重要

延長ステーの(左)と(右)を差し間違えると、コンテナを確実に載せることができません。



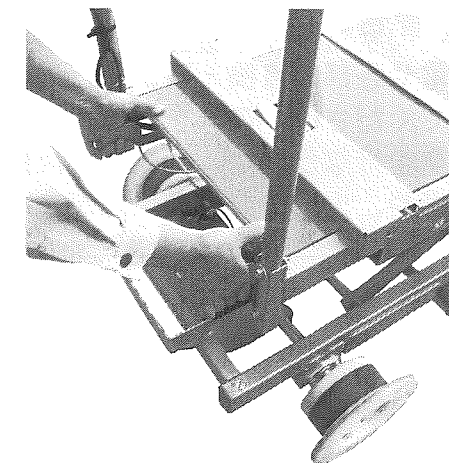
各部のはたらき

■昇降ロックレバー

作業高さを調整するレバーです。(4段階)両手で昇降ロックレバーを握り、レバーを押し上げた状態で上下させます。その後、握っている手を離すと、高さ位置がロックされて、作業高さの調整ができます。

重要

昇降ロックレバーは必ず両手で握って操作してください。片手で行なうと、高さの調整ができないことがあります。

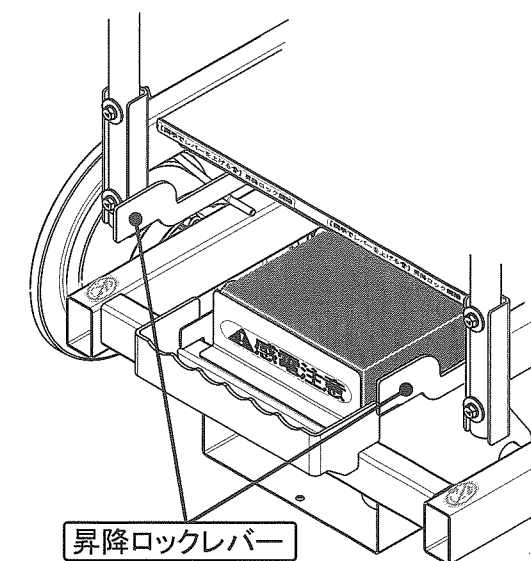


警告

昇降ロックレバーは必ず両手で握って操作してください。これを怠ると、手や指等を挟む恐れがあり、危険です。

警告

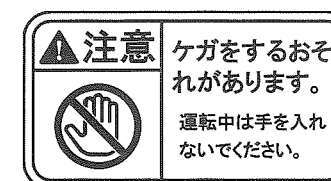
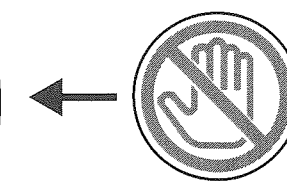
作業高さを調整する時は、周囲をよく確認してから行なってください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、危険です。



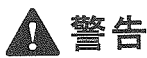
危険

※ 下記の箇所に、手や足を絶対に入れないでください。安全表示ラベルを貼付している箇所は、特に注意してください。

- ・作業フレーム(左右)の下
- ・リフトアーム(左右)
- ・リフトアームガイド上(左右)の下
- ・支柱前(左右)の下
- ・バッテリー及びバッテリーガードの上



作業前の準備



警告

- 充電や各部の点検・整備を行なう時は、必ず、走行方向選択スイッチを『OFF』にしてください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- 充電を行なう時は、湿気及び火気厳禁です。これを怠ると、バッテリーや充電器等の破損や、火災の発生の恐れがあり、大変危険です。

■リフトアーム

参照ページ P4

亀裂・変形・損傷が無いことを確認してください。
また、回転軸や止め金具が外れていないことを確認してください。

■スイッチ・ダイヤル

参照ページ P5

走行方向選択スイッチ・走行速度設定ダイヤル、及びフットスイッチを操作し、途中で引っ掛かったり、著しいアソビやガタやショックが無く、動きに支障が無いことを確認してください。

■クラッチレバー

参照ページ P5

クラッチレバーを操作し、クラッチの入切ができることを確認してください。

■フットSWボックス

参照ページ P6

作業状況に応じて、所定の箇所に、取り付けて下さい。
ソケットとフットスイッチのコネクタが確実につながっていることを確認してください。

■バッテリー

参照ページ P7

十分に充電されていることを確認してください。
電圧が12V以下の場合は、充電してください。

■後部ステップ

参照ページ P8

作業時には必ず、確実に取り付けてください。

■手摺・支柱

参照ページ P8

作業状況に応じて、確実に取り付けてください。

■移動車輪

参照ページ P9

車輪の出し入れ、移動車輪操作レバーの操作に支障が無いことを確認してください。

■従動輪・駆動輪

参照ページ P9

損傷や大きな摩耗が無いことを確認してください。
また、取付ボルトの緩みや脱落が無いことを確認してください

■作業フレーム

参照ページ P10

亀裂・変形・損傷が無いことを確認してください。

作業前の準備

■昇降ロックレバー

参照ページ P11

昇降ロックレバーを操作し、昇降及びロックの動作ができることを確認してください。

■本機専用レール仕様

本機専用のレールであり(下表参照)、レール上に障害物が無いこと、レールの水平度等が保たれていることを確認してください。

専用レール仕様条件	
レールの幅	585 ～ 605 (芯間)
左右の傾き	3度以下
レール入口先端の跳ね上がり	2mm以下
レール支持ホルダーの先端の開き	48mm以下



危険

本機は、専用レール以外では使用禁止です。
レールが上記の状態でないと、脱線や転倒、及びレールや本機が破損する恐れがあります。

作業のしかた

警告

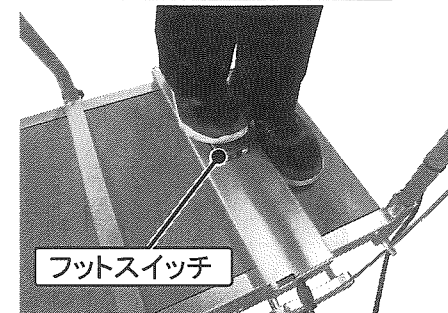
- 本機の床板や作業フレームの上に、コンテナ等を載せる際は、積載高さに注意してください。積載高さが高くなると、積載している物が傾いて落ちたり、本機が横転したりする恐れがあり、大変危険です。
- 本機が急に停止したり、異常な音に気づいた時は、走行方向選択スイッチを『OFF』にし、原因を調べて、正常な状態に戻してから、使用を再開してください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。
- 回転部等には手や足、顔等を近づけないでください。傷害事故の原因となり、危険です。

電動走行のしかた

作業の手順

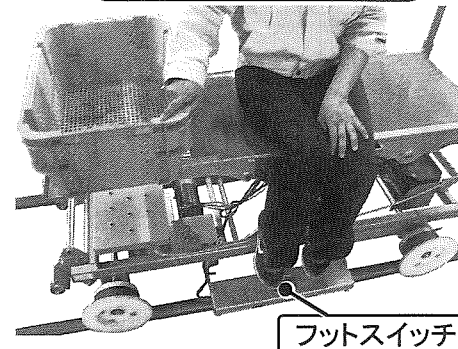
- ①フットSWボックスを、作業状況に応じた箇所へ取り付けます。
- ②走行方向選択スイッチを、「▲」または「▼」の方向に倒して、走行させる方向を選択します。
- ③走行速度設定ダイヤルを調節し、走行させる速度を設定します。
- ④クラッチレバーを、「クラッチ入」の状態にします。
(ロックが外れた状態)
- ⑤作業に応じて、フットスイッチを踏んで走行します。
- ⑥作業に応じて、走行速度設定ダイヤルを操作して、走行速度を調節します。

立って作業をする時



フットスイッチ

座って作業をする時



フットスイッチ

警告

- レール上で走行させる時は、移動車輪操作レバーを格納してください。思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- レール上以外で走行させる時は、移動車輪を使用してください。樹脂車輪が破損する恐れがあります。

重要

- 下記の状態では、電動走行しません。
- ・走行方向選択スイッチが、「OFF」の時
 - ・走行方向設定ダイヤルが、「止」の時
 - ・クラッチレバーが、「クラッチ切」の時
 - ・移動車輪が、「接地」状態の時

手動走行のしかた

作業の手順

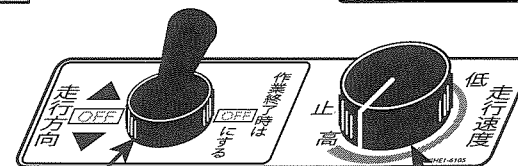
- ①走行方向選択スイッチを、『OFF』にします。
- ②クラッチレバーを、「クラッチ切」の状態にします。
(ロックされた状態)
- ③本機を押すと走行します。

重要

クラッチレバーが「クラッチ入」の状態では手動走行しません。

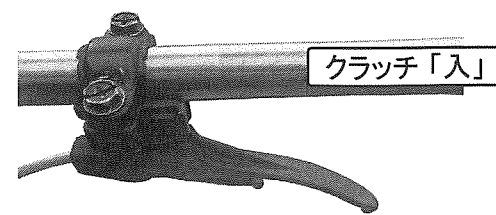
注意

レール上以外で走行させる時や、走行向きを変える時は、移動車輪を「接地」状態にしてください。これを怠ると、樹脂車輪が破損する恐れがあります。

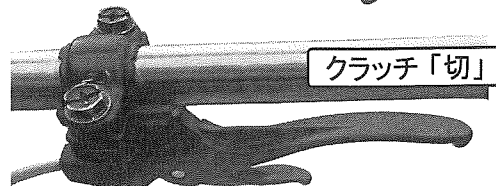


走行方向選択スイッチ

走行速度設定ダイヤル



クラッチ「入」



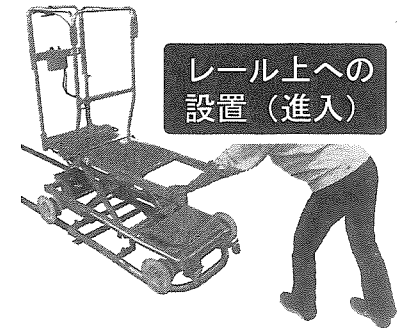
クラッチ「切」

作業のしかた

レール上への設置のしかた

作業の手順

- ①移動車輪操作レバーにて、移動車輪を「接地」状態にします。
- ②レールに進入できる位置へ、本機を移動させます。
- ③移動車輪操作レバーにて、移動車輪を「格納」状態にします。
- ④クラッチレバーを「クラッチ切」の状態にします。
(ロックされた状態)
- ⑤本機を手動走行させて、レール上へ進入させます。



レール上への設置(進入)

重要

レール上へ設置する時は、レールに対して、本機をまっすぐに進入させてください。斜めに進入させると、レールや車輪・車輪軸が損傷する恐れがあります。

警告

本機の下側に、手や足を入れないでください。これを怠ると、車輪にひかれる等の重大な事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

立ち作業のしかた

作業の手順

- ①作業フレームの高さを調整します。
 - ②フットSWボックスを、支柱枠内の床板の上に設置します。
 - ③支柱後を取り付けます。
 - ④支柱前と支柱後の間の床板の上に立ちます。
 - ⑤左右の手摺(横)と手摺(後)を取り付け、手摺(前)を閉めます。
- 以上のことを行なったあと、作業を開始します。



フットSWボックス

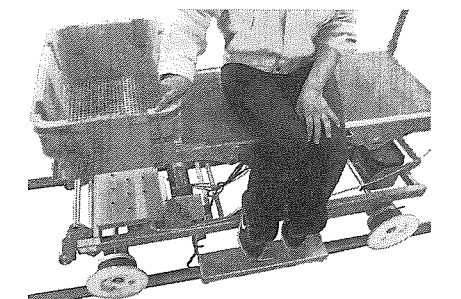
危険

作業中は、左右の手摺(横)と手摺(後)を取り付け、手摺(前)を必ず閉めてください。これを怠ると、転落等の重大な事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

座り作業のしかた

作業の手順

- ①作業フレームの高さを調整します。
 - ②フットSWボックスを、作業する側の足置きフレームに設置します。
 - ③左右の手摺(横)と手摺(後)を取り外します。
 - ④床板に横向きに座ります。
- 以上のことを行なった後、作業を開始します。



警告

本機の下側に、手や足を入れないでください。これを怠ると、車輪にひかれる等の重大な事故を引き起こす恐れがあり、大変危険です。

重要 専門的な技術を必要とする場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

警告

各部の点検・整備・調整・交換等の作業は、走行方向選択スイッチを『OFF』にし、平坦な場所で、安全を確認してから行なってください。
これを怠ると、思わぬ事故を引き起こす恐れがあり、危険です。

■清掃時の注意

モーター・バッテリー・スイッチボックス等の電気系統の部品は、防水仕様ではありません。水濡れには十分注意してください。電気系統が破損する恐れがあります。

■ヒューズ

バッテリー⊕端子の配線の途中にあるヒューズが、切れていないことを確認します。切れている場合は、新しい物（20A品）へ交換してください。
（ヒューズは消耗品です）

■電気配線

電気配線は、その被覆に損傷が無いこと、接続箇所損傷や緩みが無いことを確認します。

■スイッチ・ダイヤル

走行方向選択スイッチ・走行速度設定ダイヤル、及びフットスイッチを操作し、途中で引っ掛かったり、著しいアソビやガタやショックが無く、動きに支障が無いことを確認します。

■フットスイッチ

走行／停車に支障が無いことを確認します。

注意

電気配線の端子や、その接続部に損傷や緩みがあると、電気部品の性能を損なうだけでなく、ショートや漏電の原因になります。

■クラッチレバー

クラッチレバーを操作し、クラッチの入切を確認します。クラッチレバーを握っても、「クラッチ切」にならない場合は、調節ナットを回して、ワイヤーを調節してください。

■ワイヤー配線

ワイヤー配線は、その被覆に損傷が無いこと、接続箇所損傷や緩みが無いことを確認します。

■昇降ロックレバー

昇降ロックレバーを操作し、作業フレームの高さ調整、及びロックの動作に支障が無いことを確認します。

■移動車輪操作レバー

移動車輪操作レバーを操作し、移動車輪の上昇／下降の動きに支障が無いことを確認します。

■移動車輪

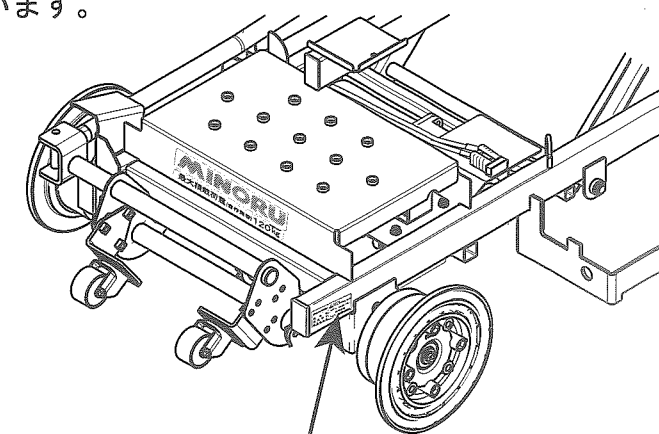
損傷や大きな摩耗が無いこと、及び取付ボルトに、緩みや脱落が無いことを確認します。損傷や大きな摩耗がある場合は、新しい物へ交換してください。
（移動車輪は消耗品です）

■従動輪・駆動輪

損傷や大きな摩耗が無いこと、及び取付ボルトに、緩みや脱落が無いことを確認します。損傷や大きな摩耗がある場合は、新しい物へ交換してください。
（従動輪・駆動輪は消耗品です）

■商品の保証

本製品には、本書の末尾に保証書が添付されています。詳細は、保証書をご覧ください。



■サービスネット

ご使用中の故障や不審な点、及びサービスに関するご用命は、販売店にお気軽にご相談ください。その際は、型式名・製造番号をあわせてご連絡ください。

農機具の種類	ハウス内 電動マルチ作業台車
型 式 名	みのる GHE-101
製 造 番 号	※※※※
製 造 会 社 名	みのる産業株式会社

【型式・製造番号記載位置】

■補修用部品供給期間

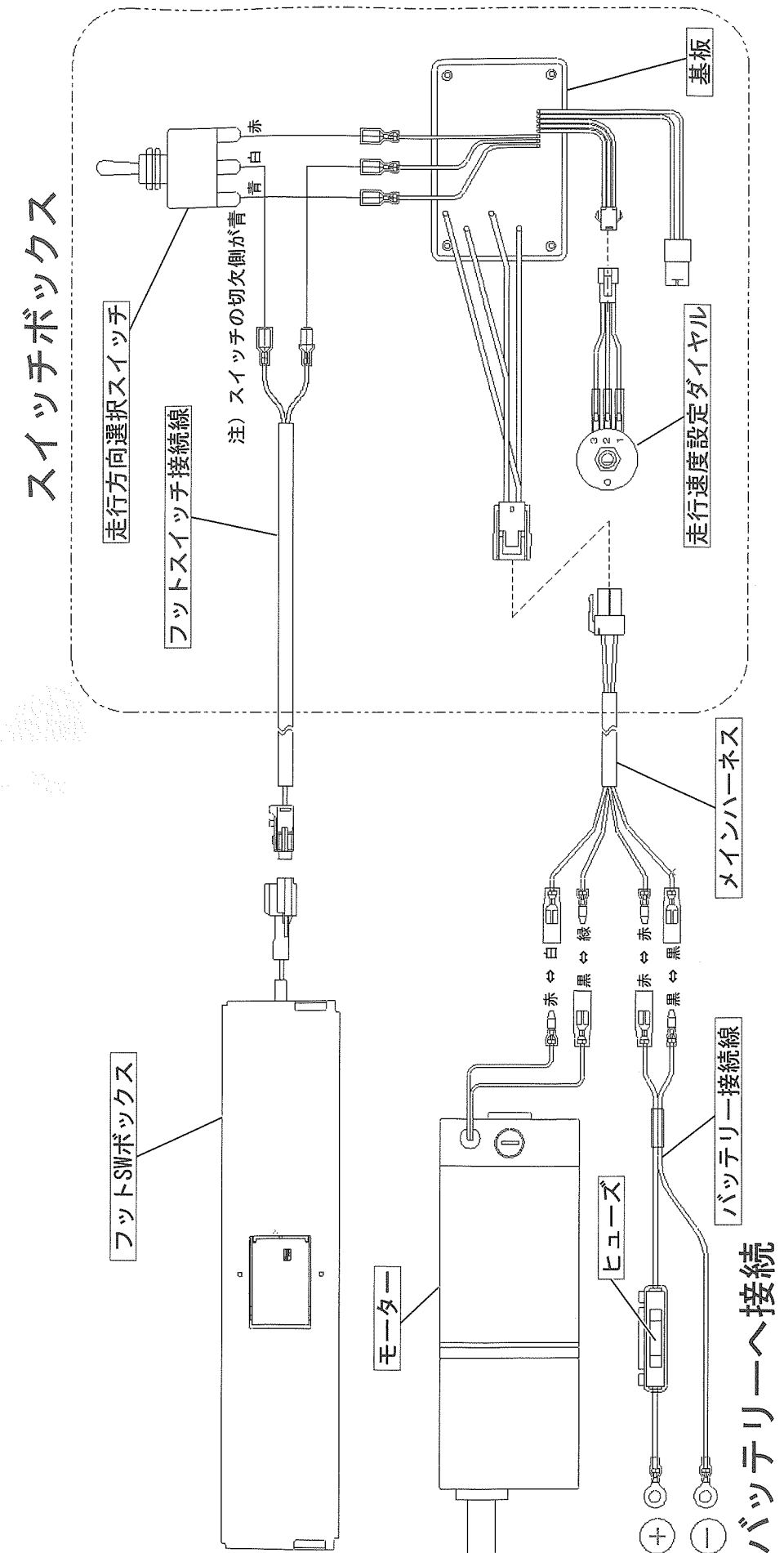
本製品の補修用部品の供給期間は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給期間内であっても、特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

なお、補修用部品の供給期間は、原則的に上記のとおりですが、供給期間の経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期及び価格について、ご相談させていただきます。

■主要諸元

名 称				電動マルチ作業台車	
型 式 名				みのる GHE-101	
機 体 寸 法	全 長		(mm)	1,537	
	全 幅		(mm)	766	
	全 高		(mm)	1190~1490 (高さ切り換え)	
	重 量		(kg)	95.5	
電 動 走 行 部	モーター 電圧／出力		V/W	12 / 200	
	バッテリー 電圧／容量		V/Ah	DC12 / 36 (20 時間率)	
	最 高 速 度		m/ s	0.34	
	制 御			専用コントローラー	
走 行 車 輪	φ48.6 レール用 (各2個)	従動輪	有 効 径	(mm)	140
		駆動輪	フランジ径	(mm)	217
	φ31.8 レール用 (各2個)	従動輪	有 効 径	(mm)	140
		駆動輪	フランジ径	(mm)	180
	軸 距		(mm)	1145	
	輪 距		(mm)	349	
移 動 車 輪 (2個)			(mm)	φ50	
荷 台 積 載	荷 台 高 さ		(mm)	300/400/500/600(4段階)	
	最 大 積 載 荷 重		(kg)	120	

■電気配線図



●保証について

以下の保証書欄に販売店で所定事項を記入いたします。

記載事項をお確かめのうえ、本書を大切に保管してください。

保証期間…購入日から1ヵ年

保証規定

1. 保証期間内（お買上げ日より1ヵ年）に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - (イ) 取扱説明書の注意事項を守らなかった場合
 - (ロ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ハ) お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷
 - (ニ) ご購入時に、「お買上げ日」「販売店名」が未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (ホ) 消耗部品

 **みのる産業株式会社**

保証書

※ 本書は再発行しませんので大切に保存してください。

保証期間 1ヵ年

お買上げ日 年 月 日

お客様 ご住所

〒 TEL

ご芳名 様

販売店 住所

店名 印

TEL

 **みのる産業株式会社**

本社工場 〒 709-0892 岡山県赤磐市下市 447
TEL(086)955-1123 (代) FAX(086)955-5520

東京支店 〒 337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野 210
TEL(048)683-9451 (代) FAX(048)683-9452

長野営業所 〒 389-1104 長野県長野市豊野町浅野 582-4
TEL(026)257-6530 (代) FAX(026)257-6531

九州支店 〒 818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1
TEL(092)921-6006 (代) FAX(092)921-6008